

社会言語科学会第31回大会シンポジウム 国立国語研究所と統計数理研究所の共催 「ことば」と「考え方」の変化研究： 社会言語学の源流を追って

日時：2013年3月16日(土)14時45分から17時45分

場所：統計数理研究所2F大会議室 <http://www.wdc-jp.com/jass/31/>

話題提供

言語と社会とココロの連鎖モデル
横山 詔一(国立国語研究所)

山形県鶴岡市における共通語化調査とは
米田 正人(国立国語研究所)

鶴岡調査は共通語運用能力のどの側面をとらえてきたのか
阿部 貴人(統計数理研究所)

継続調査で「考え方」の変化をどうとらえるか
— 日本人の国民性調査と岡崎敬語調査から—
前田 忠彦(統計数理研究所)

年齢・時代・世代効果を分離するコウホート分析への招待
中村 隆(統計数理研究所)

指定討論

方言研究の観点から
佐藤 亮一(国立国語研究所)

鶴岡共通語化調査と言語変化研究
井上 史雄(明海大学)

社会言語学がWelfare Linguisticsであることの理由
— 鶴岡調査の根拠と貢献—
佐藤 和之(弘前大学)

司会

杉戸 清樹(国立国語研究所)